

## 新青丸共同利用研究航海報告書

- \* 航海番号 KS-23-10 次研究航海
- \* 航海名称 屋久島・種子島周辺海域において黒潮やその分枝流が乱流混合、栄養塩供給、低次生態系に及ぼす影響  
Influences of the Kuroshio and its brunch current flowing near Yakushima and Tanegashima Islands on turbulence, nutrient supply, and lower trophic level ecosystem.
- \* 観測海域 九州南西—南東海域  
Southwest-southeast Kyushu regions
- \* 航海期間 令和 5 年 7 月 6 日 (木) ~ 令和 5 年 7 月 15 日 (土)
- \* 出港日時・場所 7 月 6 日 14 時 和歌山港
- \* 入港日時・場所 7 月 15 日 9 時 鹿児島港
- \* 寄港期間・場所 なし
- \* 研究課題  
本観測では、屋久島や種子島周辺海域で、黒潮や分枝流が発生させる時計回り、反時計回りのサブメソスケール渦が、① 乱流混合、② 硝酸塩の拡散・湧昇フラックス、③生態系に及ぼす影響を定量的に解明する
- \* 主席研究員 (氏名・所属・職名)  
長井健容・東京海洋大学・准教授
- \* 研究内容, 主調査者
  1. 自由落下曳航水温塩分・乱流・硝酸塩・低次生態系観測 長井健容
  2. NORPAC ネット鉛直曳き 長井健容
  3. 漂流セジメントトラップ 鋤柄千穂
  4. eDNA 採水 矢部いつか

\* 乗船研究者氏名・所属・職名

氏名	所属	役職名
長井 健容	東京海洋大学・学術研究院・海洋環境科学部門	准教授
鋤柄 千穂	海洋研究開発機構・研究員	特任助教
矢部いつか	東京大学大気海洋研究所・研究員	博士研究員
Ingibjorg Bjorgvinsdottir	東京海洋大学大学院・海洋科学技術研究科	大学院生
Silvana Duran	東京海洋大学大学院・海洋科学技術研究科	大学院生
Diego Otero	東京海洋大学大学院・海洋科学技術研究科	大学院生
ジン ビチョン	東京海洋大学大学院・海洋科学技術研究科	大学院生
上田 智貴	東京海洋大学大学院・海洋科学技術研究科	大学院生
今野 俊介	東京海洋大学大学院・海洋科学技術研究科	大学院生
大川 未来	東京海洋大学大学院・海洋科学技術研究科	大学院生
Danielle Postigo Montero	東京海洋大学・海洋資源環境学部	特別聴講学生
Diego Alonso Dante	東京海洋大学・海洋資源環境学部	特別聴講学生
有井 康博	マリン・ワーク・ジャパン	観測技術員

\* 航跡・測点図

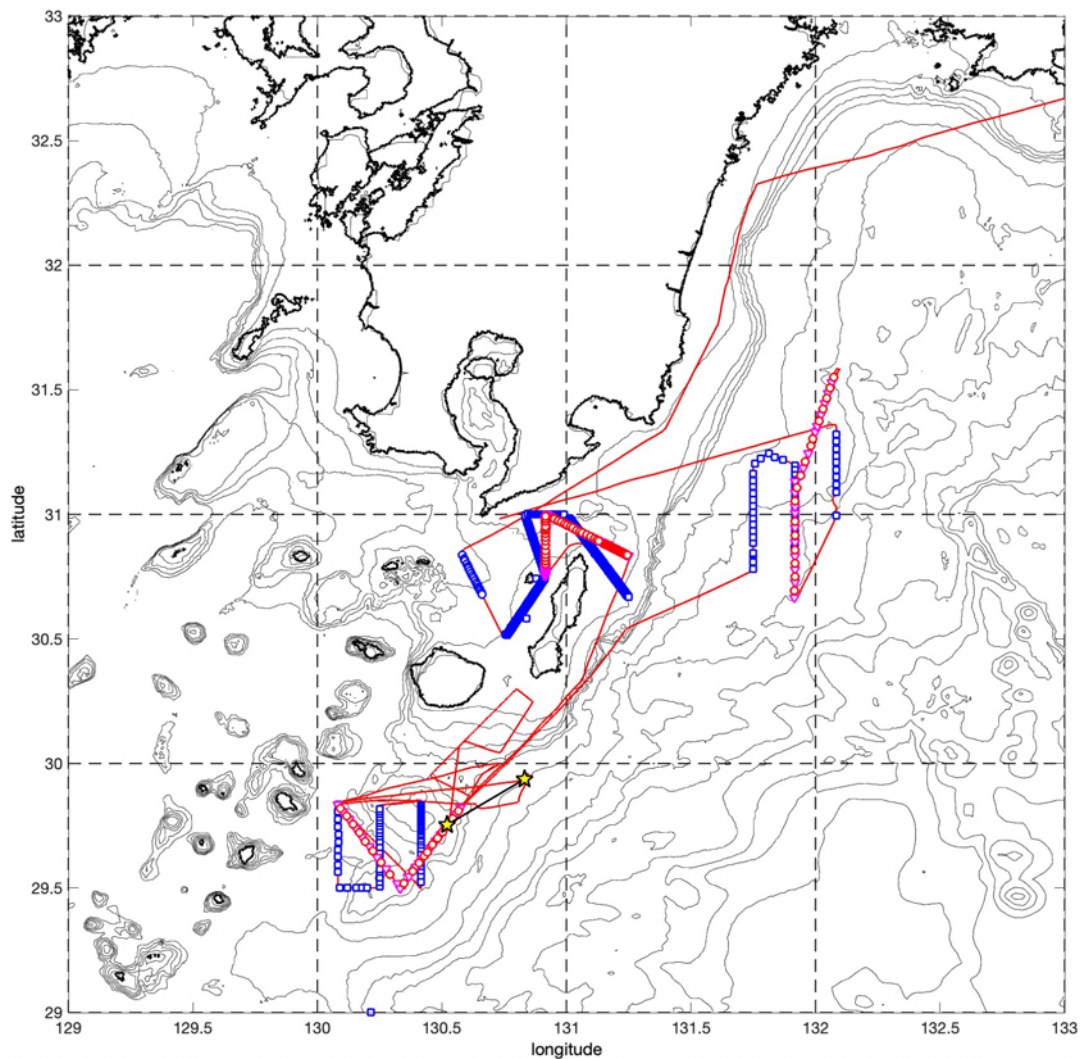


図 1

航跡を赤線で、青丸は URINKO、青四角は UCTD、赤三角は UVMP、赤丸は SUNADAYODA 観測点を示す。星印は、漂流セジメントトラップの投入と回収位置を西から順に示す。

### Notice on Using

This cruise report is a preliminary documentation as of the end of cruise.  
This report is not necessarily corrected even if there is any inaccurate description (i.e. taxonomic classifications). This report is subject to be revised without notice. Some data on this report may be raw or unprocessed. If you are going to use or refer the data on this report, it is recommended to ask the Chief Scientist for latest status.  
Users of information on this report are requested to submit Publication Report to Cooperative Research Cruise office.

E-mail: kyodoriyo@ori.u-tokyo.ac.jp